



あげしお

令和5年6月29日

鷹南学園

三鷹市立第五中学校

校長 鶴崎 靖二

◇学校教育目標◇

- ・進んで考える人
- ・情操豊かな人
- ・心身ともに健康な人

～「あげしお」物事の勢いが盛んになることを意味し、生徒が勢いよく活躍するという思いを込めて～

ホームページ <http://www.mitaka-schools.jp/gochu-jhs/>

「星を観て思うこと」

校長 鶴崎 靖二



学校HPリンク

先日、久々に天体望遠鏡を我が家の屋根裏部屋から掘り起こし、星を観る機会がありました。私は子どものころから宇宙に関心があり、学生時代は友達と一緒に地域の天体サークルにも参加していました。天体望遠鏡は大変高価なので、働くようになってから自分で購入した物です。ですから40年近く前の大変古い望遠鏡です。



星を観ていていつも思うのは、「悠久の時間」と「私たちの今」です。今の季節ならば、銀河系の中心部方向にきらめく数多の星雲・星団を観ることができます。私たちの地球から銀河系の中心までの距離はおよそ3万光年。北半球で見られる最も美しい球状星団といわれるM13まで、約2万光年。干潟星雲(M8)は3,900光年、有名な環状星雲(ドーナツ星雲)(M57)でも2,300光年あります。つまり、2万年前の人類が文明を持っていなかった時代のM13の姿、秦の始皇帝やローマ帝国時代のM57の姿を地球から同時に観ているということです。今見えている夜空の星々は、それぞれ異なる時間の姿を地球に届けています。もしかしたら、今見えている星の中には、消えてしまった星もあるかもしれませんよね。

私たちは、悠久の時間の中で、同じ時代に生まれて、同じ国に育って、三鷹五中という縁があったからこそ今ここに出会っている。少しでも何か違っていたら、何かがちよっと違っていたら一生会うこともなかった。話すこともなかった。

そう考えると、人と人との出会って、「素敵な偶然」、「奇跡」なんだなあって改めて考えてしまうのです。

余談ですが、夜の校舎屋上で、星空ウォッチングを秋、冬に開こうと考えています。時間は夜7時頃から9時頃までです。秋は木星・土星が見ごろとなっています。学校3部制としての一つの試みなので、対象は保護者・地域の大人です。日程等決まりましたら、またお知らせいたします。

学校施設を使ってみませんか

三鷹市の教育の重要施策の一つ、「学校3部制」についてご存じでしょうか。

1部が教育課程に基づく生徒の学びの場(授業)。2部が放課後等を利用した生徒の主体的な活動の場(部活動や学習教室)。そして、3部は、学校施設を地域みんなの活動拠点となる学校施設・地域の共有地(コモンズ)としての活用です。

では、「地域の活動拠点」「地域の共有地」って、一体何でしょう。

学校施設は、様々な設備や機材を有しています。こうした環境を地域に開放し、最大限活用して地域の多様な世代が学べる場としようという取り組みなのです。

これについて、五中では、地域の方が自由に使える部屋を確保するとともに、学校サポーターの協力を得て、募集の広告を作成いたしました。7月に配布する予定です。